情報通信審議会 情報通信技術分科会 公共無線システム委員会

技術的条件作業班（第５回）議事要旨

１　日時

平成２１年８月２６日（水）　１４時００分～１５時２０分

２　場所

総務省１０階　１００２会議室

３　出席者(敬称略)

（１） 構成員

原田 博司(主任:(独)情報通信研究機構)、加藤　数衛(主任代理:(株)日立国際電気)、芦屋　秀幸(国土交通省)、小野　光洋(富士通(株))、狩俣　恭太郎((社)電波産業会)、志賀　康男(警察庁)、鈴木　淳((財)移動無線センター)、竹内　嘉彦(日本無線(株))、成澤　昭彦(パナソニック(株))、柳内　洋一(日本電気(株))、山崎 高日子(三菱電機(株))、渡辺　知尚(消防庁)

（２） 事務局

鈴木　信也(基幹通信課長)、林　義也(基幹通信課課長補佐)、新田　隆夫(重要無線室長)、根本　朋生(重要無線室課長補佐)

４　議事

（１）前回議事要旨(案)の確認

公共無線システム委員会技術的条件作業班（第４回）の議事要旨（案）が了承された。

（２）技術的条件作業班報告書の骨子案について

技術的条件作業班報告書の骨子（案）について事務局から、「第１章 公共ブロードバンド移動通信システムの概要」のうち「1.4.3　無線方式等」及び「第３章 技術的条件」のうち「3.1 一般的条件」(通信方式、変調方式等）について加藤構成員から、「第２章 周波数共用条件」について竹内構成員から、「第３章 技術的条件」のうち「3.1 一般的条件」(電波防護指針への適合、セキュリティ等）について山崎構成員から、「第３章 技術的条件」のうち「3.2 無線設備の技術的条件」について小野構成員から、「第３章　技術的条件」のうち「3.3 測定法」について柳内構成員から説明が行われた。

主な質疑は以下のとおり。

志賀構成員：干渉電力のグラフが過去のNICTによる資料と異なっている理由は。

竹内構成員：パラメータを暫定のものから改めているが、詳細は別途回答したい。

事務局：サイトエンジニアリングには、周波数共用を可能にするためのものと、

セル半径を縮めないためのものがあると思うが、それぞれについて想定されるサイトエンジニアリングの手法はどのようなものがあるか。

竹内構成員： 設置場所の選択（建物等の遮蔽）、空中線指向性の調整、偏波、与干渉側へのフィルタの追加等の手法を説明。

事　務　局： 隣接チャネルの用途等に影響は考えられるか。

加藤主任代理： 偏波を変えることが想定されるが、移動系は垂直偏波とすることが原則である。その他の点については、隣接システムの技術的情報が明らかにならなければわからない。

事　務　局： 資料中のスペクトラムマスクは、フィルタについて技術的に実現可能なのか。

竹内構成員： 所要の大きさ・重さとフィルタ性能を考慮している。

原田主任： 確認だが、資料 2028-WG-5-6 で占有周波数帯幅を導いているが、その際のサブキャリア等の条件は 2028-WG-5-4 の回線設計と同様のものなのか。

小野構成員： 同様のものである。

竹内構成員： 2028-WG-5-4 の QPSK は、SCPC の QPSK ではなく、OFDM の QPSK である。今後そのように明示する。

志賀構成員： 遅延や、システムの諸要件について、どの章にまとめるのか。

事　務　局： 技術的条件の前提として、第１章に記載する。

（３）その他

事務局より、６回目の作業班については、９月 17 日(木)の午後に開催予定である旨連絡。

（事務局注：作業班日程については後日変更された。）

【配布資料】

資料 2028-WG-5-1　公共無線システム委員会技術的条件作業班（第４回）議事要旨（案）

資料 2028-WG-5-2　技術的条件作業班報告書の骨子（案）

資料 2028-WG-5-3　「第１章 公共ブロードバンド移動通信システムの概要」のうち「1.4.3 無線方式等」及び「第３章 技術的条件」のうち「3.1 一般的条件」（通信方式、変調方式等）について

資料 2028-WG-5-4　「第２章 周波数共用条件」について

資料 2028-WG-5-5　「第３章 技術的条件」のうち「3.1 一般的条件」（電波防護指針への適合、セキュリティ等）について

資料 2028-WG-5-6　「第３章 技術的条件」のうち「3.2 無線設備の技術的条件」について

資料 2028-WG-5-7　　「第３章　技術的条件」のうち「3.3 測定法」について